

新年あいさつ

吹田市議会議員
川本 均



新年明けましておめでとうございます。
市民のみなさまには、すがすがしい新春をお迎えのことと心からお喜び申し上げます。
さて、かつて、わが国の経済活動を支えた吹田操車場は、廃止から30年以上の時を経て、北大阪健康医療都市「健都」として生まれ変わり、健康寿命の延伸をリードするまちとして新たな時を刻み始めました。また、今春には、おおさか東線の南吹田駅もいよいよ開業となるなど、本市のさらなる発展が期待されています。

そのような中、昨年、本市は、大阪府北部地震、台風21号など多くの自然災害に見舞われ、災害時における諸課題に直面しました。

また、本市の人口は37万人を超え、なおも増加傾向と、大変喜ばしいことではありますが、一方で、保育園の待機児童問題や小・中学校の過大校対策など重要な課題も多く、将来を見据えたまちづくりに向けて、議会としての責務の重さを改めて感じる次第です。

市議会といたしましては、市民のみなさまが安心して、心豊かに暮らせるまちづくりに向け、今後とも、活発な議論を重ね、慎重かつ的確な判断をしてまいり所存であります。どうぞ、みなさまのご理解とご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。

結びに、本年がみなさまにとりまして、ご健勝にて幸多き一年となりますよう心から祈念申し上げまして、年頭にあたりましてのごあいさつとさせていただきます。

吹田市長
後藤 圭二



明けましておめでとうございます。
みなさまが、健やかに新年を迎えられたことを心よりお喜び申し上げます。

昨年は、たび重なる自然災害に見舞われ、いまだまちの中にはその傷跡が残っています。本市は引き続き市民生活の完全復旧に注力するとともに、この経験を生かし、安全で安心して暮らせるまちづくりをさらに進めてまいります。

昨年11月、ついに北大阪健康医療都市「^{けん}健都」が産声をあげました。それは、吹田がこれから歩む方向を明確にした瞬間でもあります。すでに開業した新市立吹田市民病院に続き、今夏には国立循環器病研究センターがオープンします。健康・医療のまち吹田は、健都を核に健康寿命の延伸を実現します。「吹田に住んでいて良かった」と実感を持てるようなまち、それこそが全ての吹田市民の夢です。いよいよ夢につながる未来への道筋が見えてきました。

「福祉と健康・医療」「高質で安全なまちづくり」「教育、文化、スポーツ」「市民力、地域力」を柱に、高質で豊かなまちをめざして全力を尽くしてきました。これからも、傾聴と対話を大切にしながら、魅力あふれるまち吹田市の強みをさらに伸ばしてまいります。

みなさまにとって本年が幸多き一年となりますよう心からお祈り申し上げ、年頭のごあいさつといたします。

